

<司令官ケネス・メイナー大佐の2020年12月20日のビデオメッセージ（要約）>

今日は、士官志願者祈祷週間で皆様がささげてくださった祈りが込められた折り紙が、こうしてツリーに飾られているのを見ることが出来て感謝です。祈りが応えられて、救世軍士官として献身する人が士官学校に入校してくることを信じて待ち望んでいます。わたしたちはアドベントを過ごしていますが、それは信仰を持ってキリストの到来を待ち望む人たちの季節です。昔ユダヤ教のラビ（教師）たちがモーセの律法にいくつの戒めがあるか調べたところ、「～してはならない」という禁止が365箇所、「～しなさい」という勧告が248箇所、合計で613の戒めがあることがわかりました。しかし、ダビデ王は613の戒めを11に凝縮して詩編15編に記しました。ところが、預言者ミカは11の戒めをさらに3つに絞りました。それはミカ6:8に記されています。そして、預言者ハバククは3つの戒めを1つに絞ったのです。それがハバクク2:4に記されている「神に従う人は信仰によって生きる」という言葉です。神に従う人とは、イエス・キリストに従って生きる人のことです。クリスマスの物語に登場する人物たちは、完全な人間ではありませんでしたが、イエスを信じ、イエスに従った人たちでした。このクリスマスの季節に、わたしたちは、わたしたちと共にいて、わたしたちを知り、わたしたちを導いてくださるイエスを見上げて歩みましょう。コロナ禍が続いていますが、ウイルスはわたしたちの人生を支配できません。わたしたちは、自分がいと高き神の子もとされていることを、信仰によって知っています。わたしたちは、わたしたちが祈る時に、神が応えてくださり、神の最善の御心が行われることを、信仰によって知っています。イエス・キリストは、インマヌエル（わたしたちと共におられる方）として、わたしたちの内に宿ってくださいます。そのことを、わたしたちは、信仰によって知っています。いまツリーに飾られた折り紙を目にしながら、これこそ、神を信じ、神に従い、信仰によって生きようとする皆様の証しであることを覚えて、心から感謝いたします。